

7 その他、重要政策

生活基盤の充実を実現する

住民の皆様が快適な生活を送るためには、地域社会の基盤を整えることがとても重要となります。この間、自治区や京都府、国などの関係機関と連携しながら、災害復旧、道路の新設・改良・修繕、河川の改修、橋梁の架け替え・補修点検、ごみ処理施設整備、防災拠点整備、公共交通機関の充実などを積極的に進めました。

美しい自然環境・景観の保全を実現する

本町は、大江山連峰・野田川・阿蘇海など、美しい自然環境に囲まれています。これらの適切な保全は、住民の皆様の安心安全な暮らしを支えるとともに、各産業の発展に大きく寄与するものと考えます。そのような観点から、「美しく豊かな阿蘇海をつくり未来へつなぐ条例」に基づく各種施策、森林保全活動、自然循環型農業の推進、ごみの減量化（平成26年と29年を比較すると約8.6%の減量を達成しています）などに取り組みしました。



規律ある財政運営を実現する

合併10年を迎え、平成28年度から地方交付税の縮減措置が始まり、大変厳しい財政状況となっています。しかしながら、住民の皆様のご協力とご理解をいただき、平成26年度決算から平成28年度決算にいたるまで、すべての会計で黒字決算となりました。また、全事務事業の見直し、公金の収納向上、ふるさと納税などの歳入増加策、公共料金の適正化、公共施設の統廃合などの取り組みを積みあげ、将来に備えています。来年度以降についても、すでに予定している就学前保育教育施設や小学校などの大規模な公共施設の統廃合や複合化を確実に進めることによって、規律ある財政運営を実現できると見通しています。以上のような財政課題に向き合うためには、町長が率先して給与の削減を実施する必要があるとの観点に立ち、町長給与15%カットの条例改正案を議会に上程しましたが、反対多数で否決となりました。

庁舎問題に取り組みます

与謝野町の合併基本協定5項目の1つに新町の事務所の位置があげられています。したがって、庁舎のあり方については、ひとつの町としての一体感を損なうことなく慎重に議論を進めなければなりません。この間の庁舎統合検討委員会における議論を踏まえ、将来的に中心地に総合庁舎を建設する方針を固め、平成27年3月定例会において「与謝野町役場総合庁舎建設基金条例」を可決いただきました。現在、将来に備えて基金を積み立てています。

町政報告会を開催します

すべての会場、午後7時30分スタートです。

住民の皆様と協働のまちづくりを推進するために努力を重ねてきました。全地区で開催予定の本町政報告会では、過去4年間にわたる町政の進捗を共有させていただくとともに、格別のご指導ご鞭撻を賜りましたことに対する感謝をお伝えさせていただきます。お誘い合わせのうえ、ぜひともご来場ください。

2月21日(水)	石田区	石田地区公民館
2月22日(木)	弓木区	弓木地区公民館
2月23日(金)	立町区	立町会館
2月27日(火)	藪後区	藪後集会所
2月28日(水)	東町区	東町会館
3月1日(木)	男山区	男山地区公民館
3月5日(月)	浜町区	浜町会館
3月6日(火)	与謝区	与謝地区公民館
3月8日(木)	滝区	滝地区公民館
3月12日(月)	後野区	後野地区公民館
3月13日(火)	金屋区	金屋地区公民館
3月14日(水)	加悦区	加悦地区公民館
3月15日(木)	算所区	算所会館
3月16日(金)	加悦奥区	加悦奥地区公民館
3月19日(月)	温江区	温江地区公民館
3月20日(火)	明石区	明石地区公民館
3月22日(木)	香河区	香河地区公民館
3月23日(金)	石川区	石川農耕センター
3月24日(土)	下山田区	下山田地区公民館
3月26日(月)	三河内区	三河内地区公民館
3月27日(火)	岩屋区	岩屋地区公民館
3月28日(水)	幾地区	幾地区公民館
3月29日(木)	四辻区	四辻地区公民館
3月30日(金)	上山田区	上山田地区公民館

夢と希望の 与謝野町をつくる会 (山添藤真 後援会)

〒629-2263
京都府与謝郡与謝野町字弓木493番地

TEL : 0772-46-2031 (携帯 080-2077-4591)
FAX : 0772-46-4394
EMAIL : toma.yamazoe@gmail.com
www.yamazoetoma.com

山添藤真 活動レポート 2018 vol.2
2018.2月発行

山添藤真 町政報告

大江山が白雪に包まれ、
幻想的な風景を望むことのできる
時節となりました。

与謝野町民の皆様におかれては、
益々ご清祥のことと、心からお慶び申し上げます。

また、平素は与謝野町政の推進のために、

格別のご理解とご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

平成26年4月に第2代与謝野町長に就任してから、

はやくも4年の歳月が過ぎようとしております。

残された任期においても、渾身の力で取り組んでまいりますので、

ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本号では、1月初旬に発行した

「新春町政報告」に引き続き、

各施策の進捗状況の一部をご紹介します。

また、今回の町政報告では、未来への展望をお示ししたいと存じます。



政策

平成20年に制定された「与謝野町民憲章」は、住民の皆様とともに創り上げてきたまちの将来像です。私はこれまでから一貫して、本憲章に謳われたまちの将来像を実現するために、「みんなの知恵と技術で、新たな価値を生むまちづくり」を進めてまいりました。選挙公約として皆様にお約束をした6つの政策方針に基づき、各施策を講じてまいりました。就任前と直近のデータを比較すると、税収・個人所得・合計特殊出生率などの各種重要統計数値は上昇基調を示しております。そして、私が最も嬉しいことは、住民の皆様のあらゆる場面における挑戦がひろがっていることです。過去4年間にわたり、住民の皆様とともに前を向き歩めたこと、心から誇りに思います。

1

新しい視点での産業振興を実現する

先人たちから受け継いだ産業基盤を発展させることにより、各事業者の皆様がより挑戦できる環境を整えてまいりました。また、未来を切り拓くために新たなプロジェクトを実施いたしました。

施策 六次産業化を推進します

美しい農地から生産されるお米やお野菜などの農作物の価値を高めるため、住民の皆様の六次産業化を推進しています。地域グループの皆様が加工販売を手がける直売所の環境整備や第三セクター(株)加悦ファーマーズライス様の施設増強工事などに対する支援を行ってきました。このことにより農業関係者の皆様の所得向上や雇用の拡大につなげています。



施策 新シルク産業の創出に挑戦します

与謝野町産の桑栽培と養蚕に挑戦して、基幹産業の織物業だけに留まらない、シルクを商材とした新産業の創出をめざすプロジェクトです。与謝野シルクプロジェクト推進協議会様が主体となり、昨年春に山間部にて桑園整備を行い、年末から年始にかけて試験養蚕に着手。その結果、美しい繭が生産されるまでに至っています。



施策 企業誘致を実現します

町長就任から現在までに、京都市内に本社を置く健康食品製造会社に町内への企業進出を決定いただいています。現在、工場稼働に向けて準備を進めていただいております。このことにより一層の雇用の確保が実現します。また、相談件数も増加しており、引き続き、誘致実現に向けて努力を重ねてまいります。

施策 住民の皆様発のプロジェクトを応援します

本町の商店の皆様が日本一の桜の町を作り上げることを通じて、地域活性化をめざす百商一気「桜プロジェクト」を応援させていただいております。町のいたるところに桜の木を植え大切に育てるとともに、桜にちなんだ様々な商品を開発される予定です。今後も住民の皆様発の取り組みを応援していきます。

2

観光振興・交流人口の促進を実現する

近き者悦び、遠き者来る。人の魅力で人が集う。これらの考え方を重視して、各施策に取り組んできました。また、海の京都構想の実現や日本遺産事業など、京都府北部の広域連携を強化することにより、圏域全体で観光客や交流人口の促進を図りました。

施策 日本遺産事業を推進します

昨年4月に文化庁から、丹後地域2市2町で提案していた「300年を紡ぐ網が織り成す丹後ちりめん回廊」が「日本遺産」の認定を受けました。現在、地域の魅力ある有形・無形の文化財群を整備及び活用して、観光振興や織物業の振興につなげる取り組みを推進しています。

施策 中山間地域に人の流れを生み出します

平成24年度以降、京阪神圏の大学に通う学生たちが、地域住民の皆様とともに中山間地域の課題に向き合う「京都Xキャンプ事業」を展開しています。平成28年度に古民家を拠点化したことにより、交流人口が一層増加しています。夏には大学生と子どもたちが学び合ったり山や川で生き物観察をしたりといった風景がみられます。

施策 国際交流を促進します

英国ウェールズ・アベリスツイスと与謝野町は、平成初期から高校生相互派遣交流事業を展開し、両国の相互理解や国際理解の促進を図ってきました。平成27年4月には、同町に立地するアベリスツイス国立大学と包括連携協定を締結し、共同で産学連携と文化協力を推進しています。



3

未来を見据えた教育政策と環境整備を実現する

与謝野町教育大綱では、「世界中の国や地域で、自らの責務を果たすことができ、自信と思いやりにあふれ、創造的に未来を開拓する精神をもつ人間を育む」ことを理念に掲げています。本理念に基づき、学校教育や社会教育の充実を図っています。

施策 学校統廃合を進めます

本町の小学校において、主体的・対話的で深い学びを実現するためには、一学年で一定規模の児童生徒数を確保することがとても大切だと考えます。そのような観点から、岩屋小学校の市場小学校への編入を実施した他、現在では与謝小と桑飼小を加悦小学校に統合する議論を住民の皆様と進めています。児童生徒の教育環境を最優先し、積極的にご協力いただいておりますことに、心から感謝いたします。

施策 文化芸術振興を図ります

先人たちから受け継いできた文化芸術を振興することは、伝統を守り育むことにつながります。本町は、与謝蕪村や与謝野鉄幹・晶子のゆかりの地であることから、地域ぐるみで短歌や俳句に親しむための取り組みを進めてきました。学校教育における俳句振興や全国俳句大会の開催はその最たるものです。

4

地域密着型の福祉医療政策を実現する

すべての人たちが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、民間事業者と行政が協働しながら、安定した福祉医療基盤を構築してきました。よりきめ細やかな取り組みを展開する努力を重ねています。

施策 健康増進施設の充実に図ります

高齢化が進展する中、住民の皆様の健康や体力を増進することは非常に重要だと考えています。このたび、天の橋立岩滝温泉「クアハウス岩滝」を全面改築し、より充実した健康増進施設としてリニューアルすることしました。現在、設計作業に取り組んでおり、平成31年度中の改修工事の完了をめざします。



施策 安定した地域医療体制を構築します

住民の皆様の健康を支えてきた与謝野町立国保診療所ですが、現在は常勤医師の不在によって安定した総合診療やリハビリなどが展開できていません。大変ご迷惑をおかけしていましたが、本年4月には、新たな常勤医師に着任していただけることになりました。

施策 障がいのある方にも暮らしやすいまちをつくります

本町の障がいのある方に関する施策は、民間事業者や住民の皆様によって温かく育まれてきました。2016年5月には障がいのある方のグループホームが新たに開設され、同年9月には就労継続支援A型施設が設立されています。現在もなお、障がいのある方も安心して働き、暮らすことのできるまちづくりは進化しています。

施策 文化財の活用を図ります

本町には全国級の文化財が大きく分類して2つあります。一つは、数多くある古墳群、もう一つは、ちりめん街道の町並みを代表とする文化産業群です。それらを適切に保存し活用につなげることは、地域の文化を守ることだけでなく、観光産業の強化に寄与することとなります。そのような観点に立ち、ちりめん街道沿いの修景事業や旧加悦町役場庁舎の耐震工事などに取り組んでいます。また、中央教育審議会地方文化財行政部会の委員に選出いただき、「文化財保護法」の改正の議論に参画し、総合的な保存活用的重要性を主張しました。



4

新たな視点での子ども子育て支援政策を実現する

子どもたちの感性を育んでいくために、乳幼児期に重要な生命の保持と情緒の安定を基本としながら、遊びを通した保育教育を実施してまいりました。また、ご家族が育児と仕事を両立することができるように、子育て環境の充実も図りました。

施策 認定こども園新設事業を進めます

加悦地域の3つの就学前保育施設を統合し、平成33年春に新たな園舎にて認定こども園の運営を開始する予定としています。敷地として、桑飼小学校用地を選定し、高齢者福祉施設と連携しながら共生型施設をつくります。現在、進入路などの実施設計を行っている段階です。野田川地域においては、敷地の選定を行っているところです。

施策 子育て支援センターの充実に図ります

子育て家庭に対する育児支援を行うことを目的として、町内3カ所で子育て支援センターを運営しています。お子様（未就学児対象）を自由に遊ばせながら、子育ての悩み相談や情報交換、つながりづくりにご活用いただいています。リズム遊びや絵本の読み聞かせなど、創意工夫あふれる企画の充実を図りました。



施策 住民の皆様発の試みも広がりました

子育て中の女性たちが中心となり、与謝野町を中心とする丹後地方で織られたシルクを使用したお洋服をつくる取り組みが広がりをみせています。孤独になりがちな子育て中の女性や子どもたちの交流の場になるとともに、伝統産業である織物の継承にもつながる素敵な活動です。



6

徹底した情報の透明化

どなたでも参画できる町政を実現する

住民の皆様の町政参画を促進するために、24区の町政懇談会の開催をはじめ、有線テレビや町ホームページの充実などに取り組みました。また、夢と希望の与謝野町をつくる会としても、「町長と話そう会」の開催を通じて、広報公聴活動を行いました。

